

GIKODAN

23-24 REPORT



GIKODAN



GIKODAN

株式会社 技工団 本社：753-0078 山口県山口市緑町6番13号 TEL 083-922-2626 FAX 083-923-5355



本社オフィスリノベーション

Floor Information



4F	フリーアドレスブース		生産本部フロア
3F	社員休憩フロアほか		経営・営業本部フロア
2F	会議室・システム管理室		打合せ室3室 (Web会議スタジオほか)
1F	エントランス		ホール

本社オフィスのリノベーションが完了しました。毎日とても快適にゆったりと活動しています。また、表通りからよく見えるようになったねという声も多くいただいております。建物外壁の上部に取付けたLED内照式のBlue&Redシンボルマークサインも手伝って露出が上がっているようです。そもそも今回のリノベーションを思い立ちましたのは、既設建物の中に70年をこす古いところが混在していて耐震性など安全性からしても十分とは言えないところがあり、以前から気になっていたことからでした。また、継ぎ足を繰り返し中途半端な広さの部屋ばかりで業務効率も良いとは言えない状態で改善したいという気持ちもありました。一方、表側の煉瓦調タイル張りの建物は、40年前に創業者が建て替えた建物でまだまだ十分な状態ですし、象徴的な意味合いからもまだ暫くは残しておきたいと思っていました。そこで、象徴的な表半分を残しつつ、裏手の継ぎ接ぎの古い建物部分を撤去して十分な広さのフロアが取れる安全な建物に建て替え増設することにいたしました。

1階は、外部の皆さんにも気軽に出入りいただけますオープンなコミュニケーションフロアとして、面会や打合せのほか会議やパーティなどイベントの場として使用しています。社内外の皆さんが交流してネットワークを拡げたり、アイデアやイノベーションなど、発想を促す場所になればよいと思っています。書架を配したカウンター席も設えてあったり、ホール両サイドには奥行2〜3メートルの屋根付きデッキを備えていて気持ちの良い空間となっています。エントランスとホールは、ルーバー天井を施し、その上のスラブ下に吸音のためにスタジオ並みの32Kグラスウール100mm貼り、天井には質の高いスピーカーを忍ばせて、フロア全体が良い音環境になっていて心地良い空間に出来上がりました。床はエントランスが石張り、ホールはウォーナット張りで歩行感も良く魅力的に仕上がりました。ホールの照明は一灯ずつ色温度(昼光色〜電球色)と明るさの調光可能なスポットライトが100個余り取り付けられています。実際には何通りかのシーンを設定しておいて選択する使い方で、ケースに応じた雰囲気を出してくれ中々良い感じです。また、1階には『木』を多く採り入れました。エントランスの受付カウンターと大きなテーブルとワイチェアはサクラ材、ルーバー天井にはパイン材、ホールのフロアにはウォールナット材、カウンターはケヤキ材、スツールはサクラ材、ルーバー天井にはスギ材、デッキ軒天井にはチーク材など、各所にふんだんに使用しています。

2階も、基本的には社外の人もお通しする会議室や打合せ室のフロアとしています。1階がごくオープンであるのに対して、2階は社員が案内して外部の皆さんをお通しするイメージでやや制限的な色合いになろうかと思っています。コラボレーションフロアとして社員同士または社内外のグループでややクローズに打合せなど効率的な共同作業がしたい時などに、ここを選んでもらえばよいと考えています。三つの打合せ室のうち一室にはWeb会議スタジオを設え、とくにWebハイブリッド会議の質を上げて良いコミュニケーションをどう可能に出来るかを試す実験室としていて、3眼カメラ・収音・スピーカー・75型モニター2台などのシステムを設置しています。また、会議室には100型モニター2台を設置しています。このフロアにも吸音壁を施し音声の聴き取り易い、コミュニケーションの質を上げる音環境に出来上がっています。

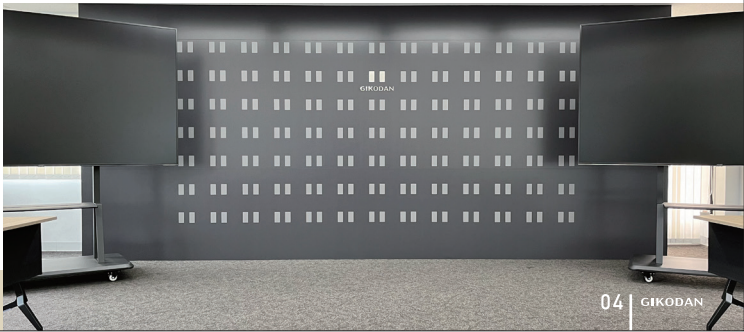
増築側の2階・3階・4階の照明は、照度感応調光システムを採用しました。また、ブラインドは若干幅広で穴が無く光漏れが少ないスラット(羽根)タイプのものを採用しています。調光には中々優れたものです。

3階・4階の両本部の執務フロアは、両サイドの窓下に3段引出しキャビネットを設置しその前にデスクを向い合せて配置させることにより常時コミュニケーションを促し、その中ほど部屋の中央に会議テーブルとモニターを設置することで軽やかにリアルな打合せに入れるように仕組んでいます。書類等は情報セキュリティ対応として夫々のデスクとキャビネットの中に納めてもらいデスク上やキャビネット天板上には極力モノを置かないルールとして運用しています。3階・4階については、基本的に社員だけのフロアにさせていただいております。

社員の動きは、基本的にポジティブであってほしいですし、スピード感が欲しいと思っています。PCに向かうにしても、人と会う場面にしても、よりポジティブになれるステージに自分を置いて取り組むのが良いと思います。本社内に常時席がある者には固定席を配置していますが、本社内でも色々なシーンを選択できるよう色々な『場所』を設けています。気の向く場所で、あるいは気分転換しつつ、その時その場面でポジティブになれる場所を選択することを覚えてもらおうと促しています。ポジティブは、仕事の質を高め、効率を上げてくれます。いずれも『みんながhappy!』のありたい姿を目指したCSRやブランディングやエンゲージメントなどの考え方です。

外観からも、オフィス内部の設えや設備からも、あるいは私たちのワークスタイルや仕事ぶりからも、お客様やお取引先様や同業の方々、学生や地域の皆さんなど、すべてのステークホルダーの皆さんに、この先もしっかり事業を進めていく意思を示し、しっかりした体制で確かな仕事を提供していく意志を感じてもらいたいと思っています。

運用面ではこれからやってみたいことがたくさんあります。ワークスタイルの変革、社内アカデミー、EV・バッテリー活用強化、BCP体制再構築、、ライブオフィスの活動、社外メンバーによるパワーランチミーティング、外部ネットワークづくり、FANネットワークづくり、コワーキング・インクベーター運営、地域・団体・学校・学生など活動にホール提供するイベント、社員家族・OBなど交流イベント、ケータリング・キッチンカーなど活用したイベント等々・・・考えるだけでワクワクできます。



CSR活動を7つの視点からレポートします。

1 ■ ■ ■ しっかりした体制、確実な仕事。
～コーポレート・ガバナンスへの取り組み～

ありがたい姿の頂上に“みんながhappy!”を掲げました。
このもとに基本理念『みんなのお役に立てる会社をつくります』を示し、『愛され信頼される地域人気一番の建設企業でありたい』というビジョンを位置づけて分かり易い組立てとしています。

『基本理念・CSRの基本的な考え方』を7年ぶりに改訂、皆さんに配布しています。
その中で行動規範もさらに『行動指針・私たちのキーワード』へ修正し、望まれる社員像として人づくりのベースとして明示しました。

業務効率化・適正化に常時取り組んでいます。
電子契約、ワークフロー導入検討、Web 請求システムの改善、いわゆる業務の一気通貫へのチャレンジなど、わかり易く効率的な業務スタイルの再構築に取り組んでいます。

2024年度キックオフ・ミーティングを開催しました。
2024 年度基本計画を確認し合うため、年度初日の 4 月 1 日にリノベーション成った本社オフィスでキックオフ・ミーティングを開催、目標達成に向けて気持ちを上げる社員交流イベントを開催しました。

2 ■ ■ ■ Communication
～ステークホルダーとのコミュニケーションへの取り組み～

『ホームページ』をコンテンツ・SEOとも見直ししました。
引き続き、Facebook・メールマガジン・GIKODAN REPORT・TVCM などとともに情報を発信しています。

デジタルとリアル役割分担
デジタルで効率向上し捻出できた時間でリアルにコミュニケーションをする考え方にしています。

Web会議の質の向上
Web 会議の有効性は十分に確認できましたが、その映像と音質のレベル向上によりコミュニケーションツールとしての有効性強化にチャレンジしています。

労働災害防止協会の活動を完全リアル復活
4 年ぶりにリアルで活動することをフルスペックで実施できました。総会、安全祈願祭、合同パトロール、安全衛生週間行事秋の集い、安全祈願旅行など。生産活動にご協力いただいているお取引先の皆さんとの大切な接点と捉えています。

社員旅行・視察研修も再開
平素離れて仕事をするスタイルであるため、新しく入社したメンバーや部門が違う技術者同士としての貴重なコミュニケーションの機会です。感性育成の一環としての視察研修も再開できました。

3 ■ ■ ■ お役に立てる
～お客様への取り組み～

BIM,CIM,ICT施工のレベルアップ
デジタルツールの活用
AR・VR や 3D プリンタを用いることで、よりわかり易くアウトプット。鉄筋計測技術「Modely」などにもチャレンジしてみました。

営業活動戦略・体制などの再構築とお客様情報の再整理
本業強化への取り組みとして、まずは各部門の現状把握～ありがたい姿を通称「マンガ」で業務の全体像を捉えるなかで、戦略や活動の位置づけや、基本計画や重点目標がどのあたりのことを示しているのか、各人が何を求められているかなどの共有を促しています。本業をもっと強くして、もっと皆さんのお役に立ちたいと考えています。PPPPFI などへも対応できるよう意識と行動を変化させています。

国土交通省工事成績優秀企業認定(ゴールドカード)

4 ■ ■ ■ 地域とともに
～地域社会・マーケットへの取り組み～

建設業の次世代人材確保への活動に参加しています。
建設業に従事する若年者～ベテランまで幅広い世代への教育・講習や出前授業など、山口県内の大学・高専・高校・中学校・小学校など地域の企業・学校との勉強会などへの参加・協力をしています。

地域ボランティア活動・催事へ参加・協賛しています。
ボランティアロード国道 9 号糸米交差点から山口総合庁舎までの歩道清掃は 20 年近く実施しております。また工事地域での清掃活動などへの積極的参加のほか、地域催事や山口県経営者協会、山口経済同友会、山口商工会議所など地域経済団体などへの積極的な参加・協賛をしています。

冬場の融雪作業にも取り組んでいます。
国土交通省災害対策関係労務者感謝状(木与防災)
下関市豪雨災害復旧対応感謝状

5 ■ ■ ■ 良識・Compliance
～良識・コンプライアンスへの取り組み～

労働時間と休日の管理取り組みについて
労働時間の上限規制撤廃に向けた労働時間や有給休暇取得のコントロールを 5 年前から推進していて、2024 年要求レベルをクリア出来ています。

インボイス制度への対応・電子帳簿保存法への対応
アスベスト法改正への対応
アルコールチェッカーを全員配布し、検温記録とともに結果を記録させています。

6 ■ ■ ■ 人づくり
～人づくり・次世代への取り組み～

ライフワークバランス(LWB)とポジティブな取り組み姿勢
ポジティブであることは仕事の質と効率を高めてくれます。ポジティブであるためには良いライフワークバランスが維持されることが大切です。まずは労働時間と休日の確保からアプローチしています。

わかり易い人事制度
生涯プログラムのブラッシュアップ、社員のキャリアパスやありがたい成長曲線を明示し、会社として社員の成長を支援する仕組みを再整備、等級制度・育成制度・評価制度・給与制度の人事制度により、社員一人ひとりが求められている力量を理解し、習得に向かい、さらなる成長のステップアップをサポートしています。

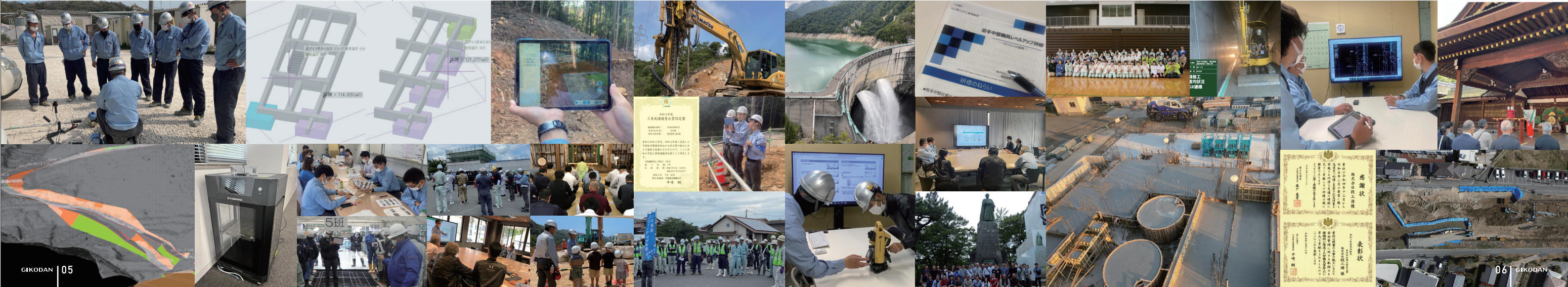
若手技術者交流会
建設ディレクター育成
現場事務業務の平準化とバックヤードからの支援を試すために、事務系社員がまず現場を知ることからはじめようという考え方で取り組みました。どう取り組み出来るか何が出来るかはこれからで、現在試行錯誤中です。
若手中堅職員レベルアップ研修
インターンシップ
長期OFF・JTによる初期教育

7 ■ ■ ■ 環境・健康安全・品質
～環境・健康安全・品質への取り組み～

施工検討会による技術伝承
2023 年度は山口市からの久々の海上工事に取り組みました。施工検討会、アセスメントでは、いつもより多くの課題が生産本部内で協議検討されました。施工検討会はベテラン世代の技術・知見を継承していく重要な場として捉えています。とくに特殊工事や実績の少ない工種の場合には、より詳しい社外の知見も活用することで施工検討会の質の向上を図ります。

外部講師を招いての安全衛生教育(全国安全週間)
中国四国管区警察局長 中国五県優良安全運転管理者表彰
国土交通省安全管理優良表彰
GX認定建設重機導入

多様な社会要請をCSRとして捉える
基本理念『みんなのお役に立てる会社をつくります』を実現するために、CSR を戦略的に捉え、それに必要なヒトやモノの経営資源の適切な投資を継続していきます。SDGs や GX、ESG など、いずれも社会からの要請として、CSR の中で受けとめ、十分に配慮し応えていきます。



毎月多くの皆さんにお届けしているメルマガをちょっと抜粋してみました。
お届けご希望の方は右記QRコード技工団ホームページにてお問い合わせください。



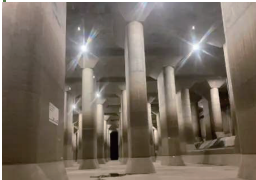
2023.04

山陰道俵山・豊田道路



俵山・豊田道路金道地区第7改良工事は今月4月からの着手となり、2024年2月末までの工事となります。工事延長は200m。道路を新設するための土工事はICTを活用しながら行います。この工事でも、働きやすい環境づくりと生産性向上を推進してまいります。だんだん道路が見えてくるようですよ。

首都圏外郭放水路



かねてより訪れてみたかった首都圏外郭放水路に行きました。今回は調圧水槽と第一立坑を見学できる立坑体験コースに参加しました。テレビなどで目にする調圧水槽も圧巻ですが第1立坑も深さ70m、直径30mとそのスケールに圧倒されます。

2023.07

掘って、広げて、砕く



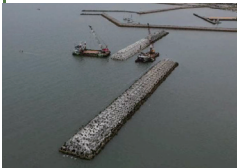
奥道山口徳山線道路改良・補正工事第1工区では削岩作業を行っています。穿孔して孔をあける⇒油圧バッカーで孔を広げて岩盤・岩石を破壊する工法で掘削を行います。現地盤から約2mほど下げていきますが、岩盤の起伏も激しいため、平地を作りながら、数回に分けて掘り下げしていきます。

熱中症対策・冷感素材マスク



夏の鉱山部での業務は直射日光と石灰石の照返しによって、作業員にとっては非常に厳しい環境下での業務遂行となります。少し涼しいだけで、マスク着用ストレスは非常に軽減され、また直射日光に暴露する面積を抑えることで、体力の消費量は大きく違います。小さな積み重ねが大切です。

離岸堤工事、施工完了



メルマガでも何度か工事状況をお届けをしていた山口市秋穂の離岸堤工事が施工完了しました。不慣れな海上工事でしたが、無事無災害で工事を終えることができました。完了検査も終え、海の男から陸の男に戻りたいと思います。画像は、テトラポッド据付けの最終場面です。

2023.05

嘉川保育園上棟式・餅撒き



上棟式を園児の皆さんと一緒に執り行った後、餅撒きを行いました。工事中は園児が外から楽しそうに現場を見ています。地域の方々も声を掛けていただき、多くの期待や楽しみが詰まった現場なんだと、日々実感しています。引き続き、精一杯頑張りたいと思います。

グランドオープン



設計から携わってきた、FIAT/ABARTH山口が、遂に5月13日グランドオープンいたしました。店舗はキャノピーが広くゆったりとしたエントランススペース、内部は非常に明るいショールームになっています。ご来店の際は車だけでなく、是非、建物の見学もいかがでしょうか。

2023.08

現場での立ち姿、なんかいい感じ



暑い夏がやってきました。山口徳山線道路改良工事は、工事中盤を迎えています。穿孔して孔をあける⇒油圧バッカーで孔を広げて岩盤・岩石を破壊する工法で掘削を行います。現地盤から約2mほど下げていきますが、岩盤の起伏も激しいため、平地を作りながら、数回に分けて掘り下げしていきます。

日産車礼店ショールーム完成間近!



日産自動車のショールーム店舗の現行CIによって、外観が黒く塗装され、タイヤも白いものに張り替えられました。一時期この工事を担当していました。このようなお客様が店舗営業しながらの工事を行う際には、より一層、現場での言動に心掛ける必要があると気付かせてくれました。

親子で行く!工事現場体験会



削岩作業見学ブースでは、パワースプレッターを使い、誘発孔となる小さい孔の開いた岩を割る作業を実演し見学していただきました。特に見学者が割れる瞬間は子どもたちも興味津々、真夏の日差しを忘れたいように、歓声をあげながら、心に入っていました。

2023.06

安全祈願祭



令和4年度俵山・豊田道路金道地区第7改良工事の安全祈願祭を執り行いました。工事が安全に計画通りに終わるよう、その土地の神様をお願いをします。工事着工に向けて安全対策、地元とのコミュニケーションを図り、無事故・無災害で工事が完了できるように対処していきたいと思っています。

元気に働きましょ



当社では4月に健康診断を行います。受診を機会に、自身の身体を知り、生活習慣病の予防や病気の早期発見・治療受診を推進中です。またやまぐち健康経営企業認定制度に参加しており、「企業健康カルテ」が毎年届きます。みんなが元気に働く技工団であるようサポートしていきます。

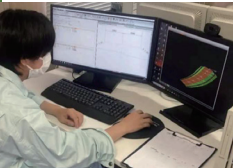
2023.09

まだまだ暑い日が続きます



2024年1月1日16時過ぎ、石川県能登地方を震源とする最大震度7の地震が発生しました。この地震につきまして、被災者ならびに関係の皆様には、心よりお見舞い申し上げます。あらためて自分たちの使命や責任を強く確認し、減災・防災・国土強靱化と安全の確保に皆で努めてまいります。

私も学んだインターンシップ



毎年恒例となった高校生のインターンシップ。期間中1日を丸ごと使って測量のオン・オフ・オフのからドローンを用いた測量まで幅広く体験するカリキュラム準備。教える立場を経験し、相手が理解できるよう教えることの大変さや楽しさなど、私自身も数多くのことを学ぶ機会となりました。

美祿市伊佐地区『十七夜祭』



4年ぶりに十七夜祭が開催されることとなり、メインイベントの打ち上げ花火が当社鉱山部事務所の駐車場から上ります。当日朝早くから花火師さんが炎天下の中、準備に余念がなく、慌ただしい姿が見受けられ、幾分その雰囲気は誘われ、自然に気分も盛り上がります。

2023.10

初めて建物完成を見届けました



嘉川保育園増改築工事の建築工事が完了しました。来月3月末に向け既存園舎解体、外構整備となります。建物部分は先行してお引渡を致しました。本工事は私自身にとって着工から配属となった初めての現場でした。建物の完成を最初から見届けられたことに喜びと安堵を感じています。

本格的な躯体スタート



全体を2工区に分けた最初の工区がいよいよ本番となりました。今は、1階の階高7.5mに対して1次打設の3.9m打設後の型枠支保工の組立中です。今後、型枠や鉄筋の工事を進めるのですが、スラブの工事にかかるまで2回の支保工の組替が必要となり、各業者間の工程調整が複雑になります。

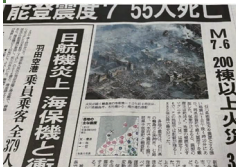
落語で充電



10月6日「技工労働災害防止協会秋の集い」を開催いたしました。今年度も「愉しい健康」をテーマに、落語家の桂雀太郎氏をお招きし、講話と落語を楽しんでいただき、みんなで「元気」になってもらおうと取り組みました。みなさんのナチュラルキラ・細胞が活性化されたことと思います。

2024.01

2024正月早々の大災害と大事故に思う



2024年1月1日16時過ぎ、石川県能登地方を震源とする最大震度7の地震が発生しました。この地震につきまして、被災者ならびに関係の皆様には、心よりお見舞い申し上げます。あらためて自分たちの使命や責任を強く確認し、減災・防災・国土強靱化と安全の確保に皆で努めてまいります。

若手技術者の活躍



これまでもメルマガジンやFacebookでも当社の若手技術者の頑張っている姿を皆様に紹介していましたが、ホームページのリプレスを機に、ワークスタイルの変化とあわせて特設ページを作りました。頼もしく成長してきた姿を改めてまとめる作業は大変な作業でしたが、是非一度ご覧ください。

海岸保全工事



2023年に離岸堤整備をさせていただいた秋穂漁港にて、消波ブロックの製作に着手いたしました。3カ月で230個を製作予定です。消波ブロックは海岸や河川などの護岸や水制を目的に設置するコンクリートブロックですが、近年では海岸ばかりではなく砂防、治山にも用いられることがあります。

2023.11

徳山高専意見交換会



山口県が主催された、若手技術者と徳山高専学生との意見交換会に当社もご協力させていただきました。来年度専攻学科を決めていく学生のために、多くのインプット機会を設ける学校の姿勢に、人を育てるプロの力強さを感じました。

フィットネス・3店目オープン



周南市の「イオンタウン周南久米店」で施工していた「エニタイムフィットネス」の工事が完了しました。「宇部厚新川店」、「宇部厚南店」に続いての工事です。今回はテナント出店の内装・設備工事でしたが、過去2店で施工している建築部最高齢技術者が、今回も所長として頑張ってくれました。

2024.02

指差呼称の範囲拡大



約3年間、お客様と協力会社が一体となって「指差呼称」を展開しています。指差呼称は、目で見て、指を差して、声に出すため、うっかりミスに対して大きな効果があります。活用機会を重ね点検、浮点検、警備等に拡大。休日でも指差呼称をしてしまうくらいに体に染み付いています。

冬本番



国道9号の橋梁補修工事、1箇所目の補修が完了しました。内容は断面修復、桁や橋台の劣化した部分を研ぎ、特殊モルタルで充填しました。施工場所は非常に寒い地域だったので、施工中は品質管理のためヒーターを投入し、気温が5℃を下回らないようにしました。現場周辺は見事に雪景色。

富士教育訓練センター研修



自然豊かな環境のなかで、全国各地の会社の方々との一か月間の共同での研修となります。コミュニケーションを自主的にとり、自己共に技術や技能を高めることのできる環境づくりに取り組み、自己のスキルアップとともに精神の成長に繋げることができればと思います。

2023.12

ボックスカルバート



10月に置換工が完了し、メイン工事となるボックスカルバートの構築の施工をすすめております。現在は内部支保工組立が完了。工事は底版、壁、頂版と作業は進んでいます。高所作業になりますので、墜落、転落災害が起きないよう気を引き締めています、ご安全に!

橋をなおします



「令和5年度国道9号向田跨道橋外補修工事」を受注しました。主に橋梁の補修工事となります。経年劣化により、コンクリート構造物では剥落やひび割れ、鋼製構造物では長年の雨水によって一部腐食が進行しています。当工事ではこれらの補修を行い、構造物の延命へとつながります。

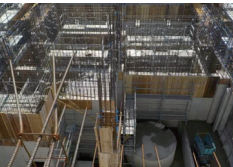
寒い日には・・・



先日、大学時代に所属していたサークルにOGとして参加してきました。サークルの内容は全く関係ありませんが、近頃は毎年11月になると、なぜか焼き芋を焼き始めるという謎の習慣があります。家族連れの参加者もいらっしや、子供たちも美味しそうにお芋を頬張っていました。

2024.03

何事もコミュニケーションが重要



浄水センター建設工事で現在、型枠支保工の高み作業を進めています。位置、高さ、作業道路を計画通りに間違えずに進めないと、組替が発生します。重要作業です。技能者不足が常態化している状況は、特に予定外作業が発生しないよう、協力会社と連携を図り工程を進めます。

秋穂漁港 航路の浚渫



秋穂で浚渫工事をしています。港の船が外海に出るためには、安全な航路が必要で、潮流や河川からの土砂流入などいろいろな影響で、海底面には土砂が溜まります。港付近では定期的な航路の堆積土を浚渫する必要があります。安全な航路を作るために安全に工事を進めます。

リクルーターとしての喜び

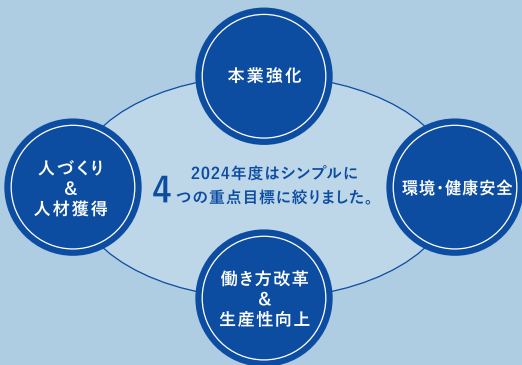


土木部1年目社員の「富士教育訓練センター研修参加&入社1年を振り返って」の報告会を開催。報告の中で、「就職活動時の説明と入社してからの環境にギャップがなかった」とのレポートがあり、採用担当としては、最高の喜びでした。入社2年目、どんどん成長していく姿が楽しみです。

2023年度全社重点目標

- ① 働き方改革推進・・・ 時間外労働時間・有給休暇取得につき格段に良化、2024年の本番に備えていく。
- ② 本業強化・・・・・・・ 絞り込み不足で目に見える成果が得られず、2024年度重点目標の中心に据える。
- ③ 生産性向上・・・・・・・ 2本部制ははじめ一部配置替えは効果が見え始めている、さらに対象を拡げ取り組みする。
- ④ 次世代形成・・・・・・・ マネジャーの若返りはほぼ順調、ベテラン層との連携も上手くなってきた、さらに推進する。
- ⑤ PDCA強化・・・・・・・ CAプロセスが弱く改善活動の力強さは余り改善していないが日常的に取り組んでいく。
- ⑥ 安全・環境・・・・・・・ 9年続いた休業災害ゼロが途切れてしまった、災害撲滅を徹底していく。
- ⑦ 新・行動指針・・・・・・・ 基本理念改訂の検討に並行して再度修正した、繰り返し啓蒙し日常的に指導していく。

2024年度全社重点目標



『本業強化』へ目標を集中させて、“みんながhappy!”を実現していきます。



guest message



山口市長
伊藤 和貴 様

本社オフィスのリノベーション完成、おめでとうございます！そして、私たちの街を取り巻く話題としてニューヨーク・タイムズが吹かせてくれた風、これには柔らかく上手に受けとめたいと思っております。

さて、私と技工団さんとの出会いは、市役所に入庁し、教育委員会の社会教育課に配属された1980年にさかのぼります。当時の初代社長の作間正朝さんが青少年健全育成市民会議のお話をされており、技工団本社での月一回の定例会に参加させていただいておりました。生意気盛りの若造に温かく接していただいたこと、今でもありがたく思い出します。そして、時は下って2005年前後あたり。私が総合政策部次長として合併後のまちづくり計画を担当し、様々な立場の方々と接する中で、現社長の作間悦次さんとお話しする機会が自然と増えてきた感じがしています。大内文化の活用方策や景観形成のあり方、日本のクリスマスは山口からといった新しいイベントを後押しする環境づくりなど、まちづくりに関するアイデアがとても豊かな方です。最近のお仕事を拝見しますと、既存建物のストック活用など都市の持続可能性やしなやかで遊び心のある建築などにもチャレンジしておられます。私と技工団さんとの出会いは、教育からはじまり文化や景観といったソフトウェアの文脈で展開していると勝手に思っております。古き良きものは残して活用し、時代とともに積極果敢に変化対応する。さらなるご発展を祈念いたします。



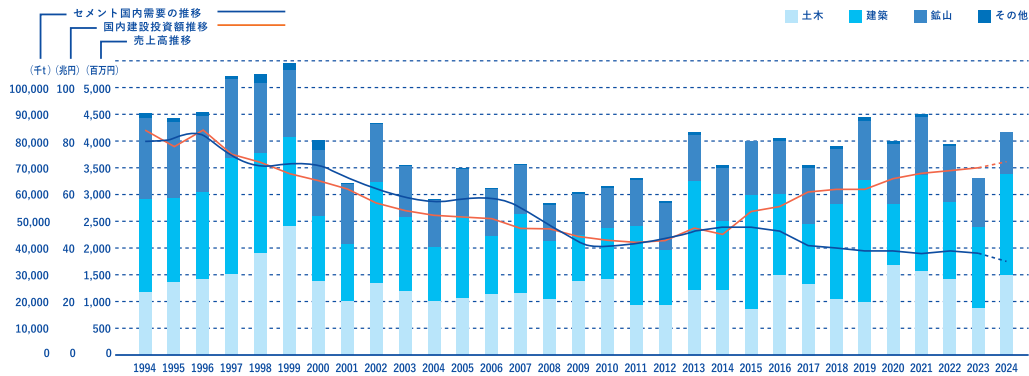
岡崎木材工業株式会社
代表取締役 岡崎 玄二郎 様

『愛され、信頼される企業でありたい』、技工団は常にこの言葉を発信されています。企業理念であり、存在理由だと思います。作間社長の強いリーダーシップのもと、私が現場でお会いするひとりの一人の社員の方からこの言葉を実現しようとする思いがひしひしと伝わってきます。『お客様に対する姿勢』、『私たち協力会社に対する姿勢』、『地域社会に対する姿勢』、そして『社員同士の関係』、多くの場面で社員の皆さんの強い意志や責任感、愛情を感じております。いつもありがとうございます。何か褒めすぎに感じられるかもしれませんが、一緒に現場で働いていて本当にそう感じています。建築の仕事は、納期・コスト・品質・安全など、お客様より多くの要請を求められ、時には困難な状況にもなりますが、そんな時でも今度は当社が技工団より『愛され、信頼される企業』になれるよう努力し、一緒になって難難を乗り越えていきたいと思っております。今後ともご愛顧を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

会社概要

社名	株式会社 技工団	事業内容	[土木部] 土木工事の設計・施工・維持管理 道路、トンネル、橋梁、ダム、上下水道、宅地造成、鉄道、景観整備、公園、共同溝、ソーラー設備、地盤改良工事など [建築部] 建築工事の設計・施工・維持管理 オフィスビル、店舗、医療・福祉施設、集合住宅、戸建住宅、学校、スポーツ施設、その他施設など [鉱山部] 石灰石鉱山の採掘・積込・運搬・関連工事など UBE三菱セメント伊佐鉱山、太平洋セメント重安鉱山、UBE三菱セメント菊田鉱山 [その他] 不動産賃貸、その他			
本社所在地	753-0078 山口県山口市緑町6番13号	技術資格者	技術士（建設部門） 技術士補（建設部門） コンクリート診断士 MEメンテナンスエキスパート 一級土木施工管理技士 一級建設機械施工管理技士 一級建築士 一級建築施工管理技士 一級管工事施工管理技士 一級造園工事施工管理技士	1名 2名 3名 2名 29名 4名 8名 9名 1名 5名	一級舗装施工管理技術者 屋外広告士 推進工事技士 乙種上級保安技術職員 鉱山露天採掘保安管理士 甲種火薬類取扱保安責任者 公害防止管理者 宅地建物取引士 一級建設業経理士	4名 1名 8名 3名 9名 38名 2名 1名 1名
創業	1946年5月5日	主要取引先	国土交通省・日本下水道事業団・防衛省・法務省・農林水産省・山口県・山口市・山口大学 NEXCO西日本・JR西日本・JA・MUCC・UBE・太平洋セメント・プリチストン・コマツ・中国電力 ほか民間企業・団体・個人			
会社設立	1948年3月5日	表彰	国土交通大臣表彰（優良公共建築） 国土交通省中国地方整備局長表彰（優良工事） 国土交通省中国地方整備局山口河川国道事務所長表彰（優良工事） 山口県知事表彰（優良工事） JIA日本建築家協会会長表彰（25年賞）			
代表取締役社長	作間悦次					
許可・登録など	建設業許可 山口県知事許可（特-1）第22382号 一級建築士事務所登録 山口県知事登録N第344号 品質マネジメントシステム ISO9001：MSA-QS-1186 環境マネジメントシステム ISO14001：MSA-ES-724 労働安全衛生マネジメントシステム ISO45001：MSA-SS-61 地域建設業のBCP事業継続計画 国土交通省中国地方整備局長認定 第(4)R3-073号 産業廃棄物処理業許可（収集・運搬）第03505105686号 山口県屋外広告業登録 山口県知事第365号					
資本金	50,000千円					
社員数	109名（社員64名＋鉱山部エリア社員45名）					

■売上高の推移・国内建設投資額の推移・セメント国内需要の推移



■事業所等

- ☐ 本社・土木部・建築部
山口市緑町6番13号（ドコモ山口ビル隣り）
- ☐ 鉱山部
美祢市伊佐町伊佐（UBE三菱セメント伊佐工場内）
- ☐ 平川資材センター
山口市黒川2269番地（NAP隣り）
- ☐ 泉都町ハイツ・BCPオフィス
山口市泉都町10番21号（湯田交番裏手）
- ☐ 新山口オフィス
山口市小郡令和1丁目1番地1号
（JR新山口駅北口 KDDI福新ホールMegriba）

（2024年4月現在）